

「山口市道路整備計画」概要版

山口市道路整備計画とは

本計画は、市民生活に密着している「市道」について、交通機能だけでなく、公益的施設、交通・流通施設、避難所、観光地へのアクセスや通学路の整備など様々な点を踏まえ、今後の市道整備の方針を示すものです。また、実施にあたっては、都市計画道路の整備など他の道路整備と調整を図り、市民の皆様の御理解・御協力を得ながら計画的な市道整備を推進します。

計画期間

本計画の計画期間は平成27年度～平成36年度までの10年間を計画期間とし、5年後に見直しを行います。

山口市の現況と市民の声

地域の現況

地域別の人口推計を平成22年と平成32年で比較すると、山口地域、阿知須地域では、人口減少を極力抑えることができますが、秋穂地域、徳地地域、阿東地域では少子高齢化、人口減少が地域よりも進むことが予測されています。

山口市の産業の中で観光については、観光客数が増加していますが、その他の産業では生産額等、減少傾向にあり、これまで増加傾向にあった製造業についても出荷額が平成12年から減少しています。商業について立地環境区分から見るとロードサイド型で年間販売額が多く、駅周辺や市街地での販売額が少なくなっています。

交通の現況

山口市の道路混雑度については、国道9号や県道山口防府線など、地域・地区間を結ぶ国、県道で混雑度が高くなっており、周辺市道への通過交通の流入、交通負荷の増加が懸念されます。交通事故に関しては、車両相互の事故が多いものの、人対車両、自転車対車両の事故も2割程度発生しています。

道路の現況

市道の総延長は1,478kmであり、市内の道路の70%を占めています。その内、車がスムーズに融合できる区間は2割程度となっており、歩道については歩行者が安全に歩行できる歩道が設置されている区間は1割程度となっています。観光施設や公益的施設などの施設へアクセスする市道についても車道幅員が4m未満である狭あい道路が存在し、歩道が設置されていない区間も多くあります。

生活行動に対する満足度

日常生活行動の中で「道路混雑の視点から問題がある」と感じている人は6割以上に及び、5割近くの人が「交通安全の視点から問題がある」と感じています。

居住区内の道路に対する満足度

居住区内の道路に対して、山間部の地区では「災害時の代替路の確保」、山口地区の周辺では「融合のしやすさ」、その他の地区では「自転車の安全性」「歩きやすい歩道」の項目で満足度が低くなっています。

今後の市道整備に対する重要度

今後の市道整備に対して、「災害時等の住民の避難活動を支えるためのみちづくり」や「歩行者・自転車が安全に利用できるためのみちづくり」が重要であると回答した人が多くなっています。

基本方針決定フロー

山口市の現況

地域の現況
交通の現況
道路の現況

市民の声

日常生活行動に対する満足度
居住地区の道路に対する満足度
今後の市道整備に対する重要度

5つの視点から問題点整理
(1)日常生活に関する視点
(2)災害に関する視点
(3)事故に関する視点
(4)道路混雑に関する視点
(5)産業活動に関する視点

市道整備における課題

基本方針

現況市道の問題点

日常生活に関連する一部の市道整備が遅れており、その役割が果たされていません。

緊急輸送活動や、速やかな避難活動に必要な市道において整備が遅れています。

通学路をはじめ、安全な歩行空間が必要な市道において、歩道整備が遅れています。

一定の道路幅員が確保された市道の割合が低く、地域・地区間を結ぶ国・県道などの幹線道路を補完する道路整備が遅れています。

観光地や流通施設など産業活動に関連する施設へアクセスする市道の整備や、中心市街地内での人・車のアクセスを確保するための市道整備が遅れています。

基本方針

安心・安全の向上

- 通学路等の歩行者が多い道路において、歩行空間を確保します。
- 避難所へアクセスする路線において、災害時でも安全に移動できる道路整備を行います。

利便性の向上

- 公共施設や公共交通機関へアクセスする路線において、アクセス性の向上を図る道路整備を行います。

地域振興促進

- 観光地、商業地などの産業活動関連施設へアクセスする路線において、集客や物資の円滑な流通を促すための道路整備を行います。
- 地域間を連絡する国、県道等を補完する市道において、地域連携を促進する道路整備を行います。

整備路線の選定

- ① 整備路線の選定については、3つの基本方針に基づき、8つの機能を定め、対象となる施設等を選定し対象路線の抽出を行います。
- ② 対象路線について、対象となる施設等の特性や重要性を踏まえ、機能ごとに評価を行います。
- ③ 対象路線について、各機能で行った評価結果や機能数など路線の持つ特性を総合的に判断し、整備路線を選定します。

《機能》

安心・安全の向上

通学路
避難所アクセス

利便性の向上

主要公益的施設アクセス
主要交通施設アクセス

地域振興促進

地域・地区間アクセス
主要観光地アクセス

中心市街地アクセス
主要流通施設アクセス

《対象となる施設等》

通学路指定路線
指定緊急避難場所及び避難所

教育施設、医療施設、官公庁施設
社会教育施設、福祉保険関連施設
鉄道駅、バス路線

幹線道路を補完する路線
山口市の観光を推進するにあたって重要な施設
中心市街地内通過路線
港湾、漁港、卸売り市場、
その他流通業務に必要な施設

市道整備の課題

日常生活に関連の高い公益的施設へのアクセス性の向上

公共交通機関の利用を促す市道整備

避難施設へのアクセス性の向上

安全な歩行空間の確保

地域・地区間の連携を強化する市道整備

産業活動を促進するための市道整備

整備路線選定までのフロー

